

2026 年 8 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社倉元製作所
代表者名 代表取締役 CEO 星 彰治
代表取締役社長兼 CFO 小峰 衛
(コード番号 5216 東京証券取引所スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役社長兼 CFO 小峰 衛
(TEL. 0228-32-5111)

重慶鑫景特殊ガラス有限公司との 戦略的協力協議書 (MOU) 締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下の通り、重慶鑫景特殊ガラス有限公司（英語名：Aureavia Hi-tech Glass Co., Ltd.、以下「ATG」といいます。）との間で、特殊ガラス分野における共同研究開発等を目的とする戦略的協力協議書（以下「本 MOU」といいます。）を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

－ 記 －

1. 本 MOU 締結の理由

当社は、ディスプレイ用ガラス基板等の製造で培った切断・面取、両面研磨、表面処理、スパッタ成膜等の精密加工技術を基盤として、半導体関連を含む高機能ガラス分野への事業展開を進めております。2024 年 4 月には TGV（Through Glass Via：ガラス貫通電極）関連製品の製造・販売を開始し、2025 年 10 月 10 日付 PR 情報「タツモ株式会社と半導体サポートガラスの再生事業（循環型ソリューション）に関する業務提携基本契約（MOU）締結のお知らせ」にてお知らせしたとおり、2025 年 9 月には半導体サポートガラスの再生事業に関する業務提携基本契約を締結するなど、半導体用ガラス分野における事業基盤の拡充に取り組んでおります。

ATG は、中国・重慶市に本社を置き、特殊ガラス材料の研究開発、生産及び販売を一体的に展開する企業です。高アルミノシリケートガラス、リチウムアルミノシリケートガラス、ナノ微結晶ガラス、超薄型フレキシブルガラス、耐放射線ガラス及び半導体用ガラス等の製品群を有し、材料設計から試作、評価、量産までの研究開発・生産体制を構築しております。

当社は、ATG が有する特殊ガラス原板の材料開発・製造技術及び量産能力と、当社が有するガラスの精密加工・評価技術、日本国内を中心とする顧客対応力及び販売チャネルを組み合わせることにより、材料開発から加工工程への適合、顧客評価及び量産化に至る開発プロセスを加速できると判断し、本 MOU を締結することといたしました。

本提携は、当社にとって新たな事業分野への進出ではなく、当社の主力事業であるガラス研磨・研削加工を中心とする「基板事業」の技術基盤を活用し、その適用領域を拡大する取り組みです。当社は、本提携を通じて、超薄型フレキシブルガラス、半導体サポートガラス及び TGV 向けガラス基板といった成長分野への展開を加速させることにより、既存の基板事業の事業領域及び顧客基盤を大きく拡張し、中長期的な成長を加速させる可能性があると考えております。

2. 本 MOU の内容等

(1) 目的

両社は、共同研究開発を主な目的として、特殊ガラス原板の性能最適化、当社の加工工程への適合、特殊ガラス製品の共同開発及び加工歩留まりの向上等に取り組み、製品の市場競争力の向上及び両社事業の中長期的な発展を図ります。

(2) 主な対象市場及び共同研究開発の方向性

	主な対象市場	共同研究開発の方向性
①	超薄型フレキシブルガラス (折り畳み端末向け)	ATG の超薄型ガラス原板技術と当社の精密加工・評価技術を組み合わせ、切断・面取、厚み及び平坦度の管理、表面品質、耐久性並びに加工歩留まり等の最適化に取り組みます。
②	半導体サポートガラス	半導体ウェハの仮接合・剥離工程等で使用されるサポートガラスについて、材料特性、平坦度、表面品質、加工適合性及び再生・再利用への適性等の評価・開発に取り組みます。
③	TGV 向けガラス基板	先端半導体パッケージ向け TGV 用ガラス基板について、ガラス材料特性、貫通穴形成、成膜・めっき、研磨・平坦化等の各工程との適合性及び信頼性の向上に取り組みます。

(3) その他の主な協力内容

項目	概要
製品の需給協力	当社の仕様及び性能要求に適合する特殊ガラス原板について、ATG が提案及び供給支援を行います。具体的な製品、仕様、価格、数量その他の取引条件は、個別契約で定めます。
サプライチェーン連携	需要予測及び生産能力に関する情報共有の仕組みを構築し、需給変動リスクの低減及び供給効率の向上を図ります。
市場開拓	両社の顧客基盤及び販売チャネルを活用し、日本及び世界市場における共同提案、展示会・研究会等への参加その他の市場開拓を検討します。

(4) 個別契約及び知的財産権

本 MOU は、両社が長期的な戦略的協力を行う意思及び基本的な協力量針を確認するものであり、具体的な取引について強制的な履行義務又は排他的な制約を課すものではありません。具体的な共同研究開発プロジェクト、投入する人員・設備・費用、製品仕様、取引条件等は、別途締結する個別契約により定めます。

両社が本 MOU 締結前から保有する知的財産権はそれぞれの権利者に帰属し、共同研究開発により生じる新たな知的財産権の帰属、使用権限及び収益分配等については、個別契約で定めます。

(5) 契約期間

本 MOU の有効期間は、両社の代表者又は授権代表者が署名・押印した日から 2 年間です。期間満了日の 30 日前までにいずれの当事者からも書面による終了の意思表示がない場合、1 年間自動更新され、以後も同様とします。

3. 本 MOU 締結先の概要

① 名称	重慶鑫景特种玻璃有限公司 (重慶鑫景特殊ガラス有限公司/Aureavia Hi-tech Glass Co., Ltd.) https://www.cqatg.com/	
② 所在地	中国・重慶市两江新区雲武路 78 号	
③ 代表者の役職・氏名	董事長 白一波	
④ 事業内容	特殊ガラス材料の研究開発、生産及び販売。高アルミノシリケートガラス、リチウムアルミノシリケートガラス、ナノ微結晶ガラス、超薄型フレキシブルガラス、耐放射線ガラス及び半導体用ガラス等を展開しています。	
⑤ 資本金	1,208,716,806 人民元 (円換算額で 28,622 百万円、換算レート：1 人民元＝23.68 円)	
⑥ 設立年月日	2014 年 7 月	
⑦ 大株主及び持株比率	北京佐治科技发展有限公司 34.20%、深圳市远致星火私募股权投资基金合伙企业（有限合伙）13.2372%、深圳哈勃科技投资合伙企业（有限合伙）11.051%、深创投制造业转型升级新材料基金（有限合伙）10.8049%、深圳中深双创股权投资合伙企业（有限合伙）2.4024%、深圳智投汇富一号创业投资合伙企业（有限合伙）1.94%、芜湖建信鼎信投资管理中心（有限合伙）1.6016%、嘉兴宸玥股权投资合伙企业（有限合伙）1.2927%、深圳智城麓伟创业投资合伙企业（有限合伙）0.6463%、その他（北京佐治科技发展有限公司の一致行動者）22.83%	
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

⑨ 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態

本 MOU 締結先の要請により、開示を控えさせていただきます。

4. 日程

① 本 MOU 締結日	2026 年 8 月 31 日
② 協力開始日	本 MOU 締結日

5. 今後の見通し

本 MOU は、共同研究開発等に関する基本的な協力量針を定めるものであり、具体的な投資額、量産・販売開始時期及び売上高等は現時点で未定です。本 MOU 締結に関して、今後、両社は、正式合意の締結に向け、準備活動を行っていく予定です。本件が当社の 2026 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、開示すべき重要な事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上